

# 慣用句（体の言葉）

名前 番 組

点

1 ( ) に合う、体の部分を表す言葉を、あとの□からえらんで書きましょう。(10点×4)

手・耳・足・鼻

① こまっている友だちに、( ) をかした。

② 先生の話に、じつと( ) をかたむけた。

③ 歩きすぎて、( ) がぼうになった。

④ テストの点がよくて、( ) が高かった。

2 言葉の意味に合うものをつえらんで、記号に○をつけましょう。(10点×3)

① 「むねがいつぱいになる」

ア おなかがいっぱいで、何も食べられないこと

イ いそがしくて、時間がないこと

ウ うれしさや感動で、心がいつぱいになること

② 「口が軽い」

ア 食べ物を早く食べられること

イ だまっていられず、なんでも話してしまうこと

ウ 歌をじょうずに歌えること

③ 「頭をかかえる」

ア どうしたらよいか分からず、なやむこと

イ あたまをぶつけて、けがをすること

ウ うれしくて、大きな声で笑うこと

3 慣用句の使い方が正しいほうの文に、記号で○をつけましょう。(15点×2)

①

ア いつも遊んでいる公園に着いて、目を丸くした。

イ 思いがけないプレゼントをもらって、目を丸くした。

②

ア 毎日おそくまで働く父のすがたに、頭が下がる思いがした。

イ テストの点が悪くて、頭が下がる思いがした。

# 慣用句 (体の言葉)

名前 番号 組

点

1 ( ) に合う、体の部分を表す言葉を、あとの□からえらんで書きましょう。(10点×4)

手・耳・足・鼻

① こまっている友だちに、(手) をかした。

② 先生の話に、じっと(耳) をかたおけた。

③ 歩きすぎて、(足) がぼうになった。

④ テストの点がよくて、(鼻) が高かった。

2 言葉の意味に合うものを一つえらんで、記号に○をつけましょう。(10点×3)

① 「むねがいつぱいになる」

ア おなかがいっぱいで、何も食べられないこと

イ いそがしくて、時間がないこと

ウ うれしさや感動で、心がいつぱいになること

② 「口が軽い」

ア 食べ物を早く食べられること

イ だまっていられず、なんでも話してしまうこと

ウ 歌をじょうずに歌えること

③ 「頭をかかえる」

ア どうしたらよいか分からず、なやむこと

イ あたまをぶつけて、けがをすること

ウ うれしくて、大きな声で笑うこと

3 慣用句の使い方が正しいほうの文に、記号で○をつけましょう。(15点×2)

①

ア いつも遊んでいる公園に着いて、目を丸くした。

イ 思いがけないプレゼントをもらって、目を丸くした。

②

ア 毎日おそくまで働く父のすがたに、頭が下がる思いがした。

イ テストの点が悪くて、頭が下がる思いがした。